

『組合活動の更なる充実に向けて』

北労生会員の活動紹介

トヨタ自動車北海道労働組合

(〒059-1372 北海道苫小牧市字勇払 145 番 1 ☎144-52-3680)

トヨタ自動車北海道労働組合は、1992年3月27日にわずか6名の組合員で結成され、昨年20周年を迎えました。この20年で組合員も大幅に増加し、2013年3月現在の組合員数は2,247名となり、大変充実した組合活動ができる規模となりました。

さて、今期の組合活動の中で最も力を入れて取り組んでいることは、組合員とのコミュニケーションの更なる充実であります。近年の労働組合組織率低下に象徴されるように、労働者の組合離れが加速していると言っても過言ではなく、いかにして組合活動に関心を持ってもらうか、また積極的に参画してもらうかが課題ではないかと考えています。そしてそのためには、労働組合が組合員にとって親しみの持てる場であることが重要です。このような観点で取り組んでいる内容の一部をご紹介します。

私たちの労働組合事務所は、職場によっては遠い位置にあり、立ち寄りたくてもなかなか立ち寄れないなどの意見が多く、出張所の開設を求める声が上がっていました。そこでこうした要望に応え、組合員の大半が利用する食堂の一角に定期的に出張所を開設し、組合員との距離を縮める活動をスタートさせました。

1月より2回/月の頻度で組合出張所を開設し、今月で3ヶ月目となりましたが、組合員からは大変好評で、これまでなかなか組合事務所に立ち寄ることができなかった組合員にも、気軽に利用してもらえるようになりました。組合事務所で組合員が来るのを待っているのではなく、自らが組合員に近づいて、求められていることを吸い上げるのも重要であると再認識しました。

今後も私たちは、組合活動の原点である『組合員とのコミュニケーション』の更なる充実を図るため、他労組の取り組みも参考にしながら様々な施策を展開していきたいと考えております。